

プロジェクト5

- 予防接種への補助……………1億234万8000円
小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌予防接種への助成など
- 高齢者への支援……………1226万9000円
地域の見守りネットワークの強化、身近な場所で健康づくりに参加できる環境整備など
- 障害者への支援……………4014万2000円
障害者へ就労の機会を提供し、知識や能力の向上のための訓練を行う事業所(就労継続支援B型事業所)の整備に対する補助など



新型コロナウイルス感染症対策

- 令和3年度の主な取り組み
- ・新型コロナワクチン接種体制の確保
……………8億4044万円
ワクチンを安全かつ速やかに接種できるようワクチン接種・コールセンター・ワクチン搬送の業務委託など、千葉県および市内医療機関と連携し、市民への接種を行う。
- ・PCR検査の実施……………3222万円
- ・近隣センター、行政サービスセンター、図書館、公園などのトイレ改修……………1374万3000円
飛沫拡散防止のため洋式トイレへの変更
- ・私立保育園・幼稚園への補助……………1785万円
保育時の感染症対策として使用するマスクなど、物品購入などへの助成
- ・中学校の屋内運動場空調設備整備……………2億493万2000円
避難所になる中学校6校の体育館への空調設備設置
- ・小・中学校の感染症対策用消耗品費など……………2309万円
- ・学校図書館へのオンライン検索システム導入……………3223万6000円
- ・移動図書館の整備……………1892万6000円
- ・特定の条件を満たす方へのPCR検査などの費用助成……………995万5000円
- ・学童保育室の空調設備更新……………1522万3000円
- ・学童保育室・あびっ子クラブの床修繕……………1018万2000円
- ・救急・救助活動における新型コロナウイルス感染症対策……………1027万5000円



その他の事業

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み……………705万9000円
オリンピック聖火リレー通過記念銘板の設置、パラリンピック採火式など
- 行政改革の推進……………3億1217万4000円
証明書のコンビニ交付やソフトウェアロボットによる業務の自動化に向けた整備など
- 都市基盤の整備……………3億3708万円
手賀沼公園・久寺家線の整備や白山跨線人道橋の補修工事など
- 第四次総合計画の策定……………200万5000円
- 公共施設の老朽化への対応……………4億5901万7000円
近隣センター、市役所庁舎、消防署、小・中学校など公共施設の給排水・空調・外部補修など



令和3年度 教育行政施策

子どもたちと教育の未来のために、変化に応じた教育行政

「個性を尊重し、互いに学び合う学校教育並びに生涯学習の推進」を基本方針とし、2つの施策を展開します。

1.子どもの創造性と自主性を育む教育の充実

小中一貫教育の研究・推進、情報活用力の育成、学校運営協議会制度の導入準備、いじめ・不登校への対応など

2.市民が生涯にわたって生き生きするための学習体制の充実

鳥の博物館の教育普及活動、子どもの読書活動の推進、総合型地域スポーツクラブ育成支援、市民の文化芸術活動の支援、生活文化・郷土芸能の保全継承など

令和3年度 水道事業経営方針

水道事業ビジョンに掲げた3つの基本目標(安全・強靱・持続)に沿って事業を推進します。

○安全…水質検査や浄水場設備の保守点検など

○強靱…白山、つくし野、泉、古戸の各地区の配水管路布設替工事、浄水場設備の更新工事など

○持続…浄水場維持管理業務や料金・給水・会計業務の包括委託によるお客様サービスの向上・業務効率化など

誰もが安心して住みやすいまちを市民とともに築く

市長 星野 順一郎

新型コロナウイルス感染症対策のワクチン接種については、市への配分が分かり次第、お知らせしていきます。

これまで国の交付金などを活用し、新型コロナウイルス感染症防止関連経費として約150億円を計上してきました。令和3年度予算においてもワクチン接種のほか、高齢者施設や医療機関への支援など必要な経費をしっかりと盛り込んでいます。

子育てを支える取り組みでは、湖北台保育園を建て替え、園舎に子育て支援施設を併設する複合施設として令和4年度の開園を目指し整備を行います。

また、安全・安心な暮らしを支えるため、新クリーンセンターの建設

や中里地区への(仮称)湖北消防署の整備を進めるほか、手賀沼公園・久寺家線の工事着手、我孫子駅構内のエレベーター整備、柴崎・布佐・若松地区の水害対策などのインフラ整備などに取り組みます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から市民税が減少する厳しい財政状況の中であっても、さまざまな事業を着実に進めなければなりません。

誰もが安心して暮らせる、ずっと住み続けたい街とさせていただくための礎を築くため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

